

恒例の「単位クラブ会長研修会」が実施されました。

2019.12.02~03

2019年度 単位クラブ会長研修会

日時:2019年12月2日(月)午後2時開会
会場:伊東温泉「伊東ホテル聚楽」

(進行:須藤・事務局長)

- 1 講演 「共に支え合う地域づくりについて」(60分)
講師「NPO法人・くみんネットワークとつか」副理事長 島津 禮子 氏
- 2 タブレットを使った脳トレーニング(第三回,90分)
講師「一般社団法人・なのはなシニアサポート」代表理事 有澤 裕 氏ほか
- 3 ゆめクラブ藤沢新ホームページの紹介(15分)
情報通信部会役員

ゆめクラブ藤沢、暮れの恒例行事となっている「単位クラブ会長研修会」が、12月2~3日に実施されました。



バス車中の東田副会長

時折激しく降りしきる雨の中、市内15地区から104名が

3台のバスに分乗して、伊東のホテル聚楽に集結しました。

午後1時50分、市老連須藤事務局長の司会進行により研修会がスタート。石川副会長の「本日の研修会の講演を聞いて、市老連発展の参考としてほしい」との開会の挨拶に続き、田場川会長は「来年は市老連創立60周年。「健康・友愛・奉仕」の3つのスローガンの下に、高齢者医療の問題点を考えたい。自分で健康寿命を延ばす努力が必要となるが、その点を含めて今日の勉強を参考としてほしい。」と参加者に訴えました。



田場川会長



須藤事務局長



研修の最初は、「共に支えあう地域づくりについて」と題して、「NPO法人くみんネットワークとつか」副理事長の島津禮子先生による講演です。



参加者の中には、介護保険受給者はいなかったものの、高齢化社会の重要項目である介護保険制度をめぐる現状や課題等を豊富な実例を交え、具体的項目に沿って分かりやすく解説されました。

高齢者の困りごとを地域でサポートする組織づくりの大切さは、高齢者相互の問題としても考えさせられるところがあります。

参加者各人に、重い課題を再認識させられた講演ではありました。



島津講師



次は、この研修で3回目となるタブレットを使った脳トレです。これ迄の2回は、1人1台のタブレットで基本操作やアプリの練習でしたが、今回は2人1台で地図合わせのタイムレース。3分以内の完成を目指して競争です。

その他、LINEの練習や「ゆめクラブ藤沢」ホームページの閲覧等、ガラケー利用者であっても、タブレットを買いたくなる?ような研修内容です。

講師の「一般社団法人なのはなシニアサポート」代表理事の有澤



裕先生や「株式会社プライド」白石崇先生によると、「いつでも若々しい脳を保つには、適度に脳を鍛えることが大切です！2か月に一度はタブレットやパソコンと触れ合うことをおすすめします。」とのことでした。



最後は、「ゆめクラブ藤沢」ホームページの紹介です。
この9月にリニューアルしたホームページをプロジェクターでスクリーンに映し出すとともに、手元のタブレットの画面でも見てもらいました。

情報通信部会としては、多くの会員に、このホームページをお楽しみいただけるよう、コンテンツの充実に努めたい、とのことでした。

このコーナーの後半では、藤沢市内でも多発している詐欺メールについて、実例を示しながら注意を呼びかけました。

情報通信部会副部会長の山崎さんは「今後共、機会あるごとに、この様な事例を紹介していきたい。」と語っていました。



ゆめクラブ藤沢のホームページです。

研修後、田場川会長は「高齢化に伴い共に支え合う体制づくりが必要だが、様々な課題が発生している。今日の話でヒントが得られるのではないのでしょうか。」と講評し、山田副会長の閉会の挨拶で、午後5時前に研修会は終了となりました。

～少し早いですが、皆様良いお年をお迎えください！～

(取材:ゆめクラブ藤沢・情報通信部会員)